

Citrix Workspace app for HTML5 について

Citrix Workspace app for HTML5 は、オンプレミス展開向けにはStoreFrontサーバーに、クラウド展開向けにはコンテンツデリバリーネットワーク (CDN) にホストされています。Citrix Workspace アプリを使用すると、ユーザーはWebブラウザから仮想デスクトップやホスト型アプリにアクセスできます。

Citrix Virtual Apps and Desktops によって提供されるリソースはStoreFrontストアに集約されます。その後、Citrix Receiver for Webサイトを通じて利用可能になります。サイトでCitrix Workspace app for HTML5が有効になっている場合、ユーザーはWebブラウザ内でデスクトップとアプリにアクセスできます。

Citrixは以下を推奨します:

- 安全な接続のために、HTTPSベースのストアからCitrix Workspaceアプリのセッションを開きます。HTTPベースのストアを使用すると、一部の機能が動作しない可能性があります。

Citrix Workspaceアプリはゼロインストールクライアントであるため、ユーザーがデバイスにローカルでインストールする必要はありません。

StoreFront 3.0の集中型カスタマイズおよびブランディング機能と組み合わせてCitrix Workspaceアプリを使用すると、StoreFrontから集中管理されたアプリとデスクトップの選択エクスペリエンスを利用できます。

Citrix Workspaceアプリを知る

地域設定

citrix-workspace-app は、さまざまな言語、およびそれらの言語を使用する国や地域の時刻と日付の形式をサポートしています。

地域設定を使用すると、時刻、日付、および数値の形式をカスタマイズできます。

注:

このオプションは、クラウド展開でのみ利用可能です。

カスタム形式を適用するには、次の手順を実行します。

1. citrix-workspace-app のホームページで、 をクリックし、 を選択します。
2. ダイアログで、 を選択します。

ウィンドウが表示されます。

The screenshot shows a 'Regional Settings' dialog box. On the left, there is a sidebar with three options: 'Edit Profile', 'Regional Settings' (which is selected and highlighted), and 'Advanced'. The main area of the dialog is titled 'Regional Settings' and contains three dropdown menus. The first is 'Time Format: *' with the value '12-hour (9:43 AM)'. The second is 'Date Format: *' with the value 'MM/dd/yyyy'. The third is 'Number Format: *' with the value '1,000.00'. At the bottom of the dialog is a blue 'Save' button.

3. 必要な 、 、および を選択します。
4. をクリックします。

システム要件と互換性

このトピックでは、citrix-workspace-app でサポートされているCitrix製品のバージョンと、ユーザーが仮想デスクトップおよびアプリケーションにアクセスするための要件を一覧表示します。

すべてのコンピューターが、インストールされているオペレーティングシステムの最小ハードウェア要件を満たしていることを前提としています。

要件

ユーザーは、Citrix Workspace app for HTML5 を使用してデスクトップおよびアプリケーションにアクセスするために、以下のWebブラウザとオペレーティングシステムを実行しているデバイスが必要です。すべてのブラウザーは、最新バージョンでのみサポートされています。安全な接続のためには、HTTPSベースのストアからcitrix-workspace-appセッションを開いてください。HTTPベースのストアを使用している場合、一部の機能が動作しない可能性があります。アドレスバーの南京錠アイコンを確認してください。ロックされている場合、接続は安全です。安全でない場合は、証明書を更新してください。有効な証明書については、組織のIT管理者に連絡してください。

サイト情報アイコンの表示は、ブラウザーによって異なる場合があります。たとえば、次のスクリーンショットはMicrosoft Edgeブラウザーのものです。

南京錠(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/padlock-edge.png)

南京錠アイコンをクリックして、安全な接続の詳細を表示します。

安全な接続(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/secure-connection-edge.png)

ブラウザー

- アップル サファリ
- グーグル クローム
- Microsoft Edge Legacy (メンテナンスとセキュリティ修正のみのサポート)
- マイクロソフト エッジ Chromium
- Mozilla ファイアフォックス

注

Internet Explorer のサポートは、Microsoft および Citrix Workspace アプリから削除されました。

オペレーティングシステム

- オペレーティングシステム
- ウィンドウズ 11
- ウィンドウズ 10
- ウィンドウズ フォン 10
- ウィンドウズ 8.1
- Windows 8 Pro および Enterprise (32ビット版および64ビット版)
- Windows 7 Service Pack 1 (32ビット版および64ビット版)
- ウィンドウズ サーバー 2008 R2
- ウィンドウズ サーバー 2012 R2
- ウィンドウズ サーバー 2016
- macOS X 10.8 以降
- iOS (最新バージョン)
- Android (最新バージョン)

カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

Citrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、Citrix Analyticsに自動的に送信します。このデータにより、CitrixはCitrix Workspaceアプリのパフォーマンスを分析し、品質、機能、パフォーマンスを向上させ、製品開発のためのリソース割り当てを最適化し、効果的な人員配置とインフラ投資を通じてサービスレベルをサポートすることができます。

すべてのデータは集計形式でのみ使用および分析され、個々のユーザーやデバイスが特定されたり、具体的に分析されたりすることはありません。CitrixはCEIPを通じて個人を特定できる情報 (PII) を収集することではなく、すべてのデータ収集は関連する業界のデータプライバシーおよびセキュリティ基準に準拠しています。

CEIPデータの収集に使用されるツール

HTML5向けCitrix Workspaceアプリは、Citrix Analyticsを使用してCEIPデータを収集します。CEIPデータを無効にするか、ブロックすることができます。

収集されるデータ

収集されるデータ	説明	使用目的	
構成データと使用状況データ	Citrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) は、HTML5向けCitrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、Citrix Analyticsに自動的に送信します。	このデータは、Citrixがcitrix-workspace-appの品質、信頼性、およびパフォーマンスを向上させるのに役立ちます。	

追加情報

Citrixは、お客様とCitrixとの契約条件に従ってお客様のデータを処理し、Citrix Trust Centerで入手可能なCitrix Services Security Exhibitに指定されているとおりに保護します。

CEIPデータからCitrix Analyticsへ

エンドユーザーは以下を実行できます。

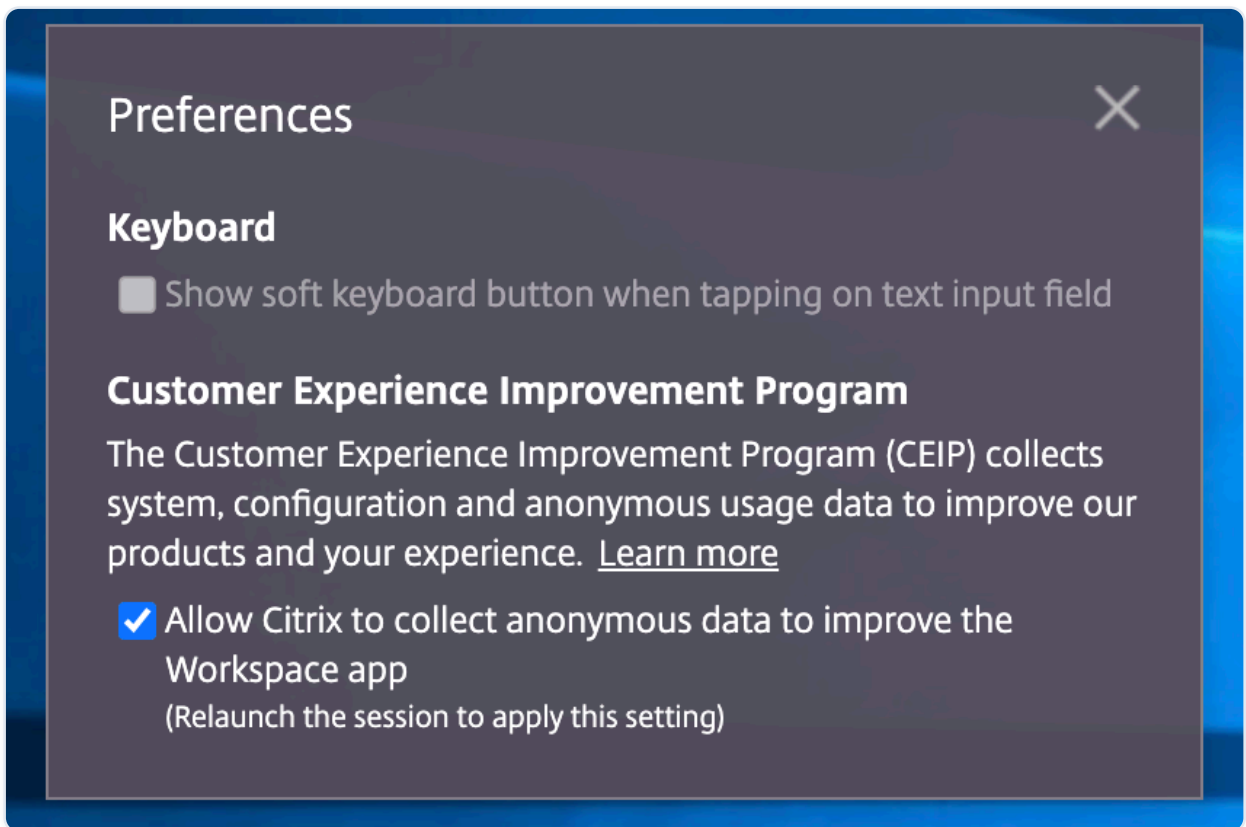
- Citrix Analyticsに利用状況データを送信するかどうかを決定する
- GUIを介してCEIPをブロックする

GUIを使用してCEIPを無効にするには

注：

CEIP設定は、管理者が `configuration.js` を使用して有効にしている場合にのみ、GUIを使用して変更できます。

1. Citrix Workspaceアプリ for HTML5を開きます。
2. ツールバーから、** [環境設定] **を選択します。



3. ** [Citrix Workspaceアプリを改善するために匿名のデータを収集することを許可する] **のチェックを外します。

注：

変更を有効にするには、セッションを再起動してください。

キーボード

東アジア言語向けの汎用クライアントIME

汎用クライアント入力方式エディター (IME) 機能は、中国語、日本語、韓国語 (CJK) の文字での入力と表示のエクスペリエンスを向上させます。この機能により、セッション中にカーソル位置でCJK文字を作成できます。この機能は、Windows VDAおよびLinux VDA環境で利用できます。

一般的に、IMEは変換候補ウィンドウや入力ウィンドウなどのユーザーインターフェイス (UI) コンポーネントを表示します。入力ウィンドウには、入力中の文字と入力UI要素（たとえば、下線や背景色など）が含まれます。変換候補ウィンドウには、変換候補リストが表示されます。

IME(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/ime-ui.png)

入力ウィンドウでは、確定された文字と入力中の文字を選択できます。入力ウィンドウと変換候補ウィンドウは、入力カーソルとともに移動します。その結果、この機能により、入力ウィンドウのカーソル位置での文字入力が強化されます。さらに、入力ウィンドウと変換候補ウィンドウでの表示が改善されます。

前提条件:

- Linux VDAの場合、**クライアントキーボードレイアウト同期とIME改善**ポリシーを有効にします。
- Windows VDAの場合、**Unicodeキーボードレイアウトマッピング、クライアントキーボードレイアウト同期**、および**IME改善**ポリシーを有効にします。
- Citrix Linux VDAバージョン2012以降を使用します。Citrix Windows VDAの場合、現在利用可能なすべてのWindows VDAバージョンが汎用クライアントIME機能をサポートしています。
- ブラウザの言語は、日本語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、または韓国語である必要があります。
- Google Chrome、Mozilla Firefox、Apple Safari 13以降、またはMicrosoft Edgeを使用します。

注:

- macOS、iOS、およびAndroidプラットフォームの場合、デバイスのシステム言語をいずれかのCJK言語に変更すると、ブラウザの言語が自動的に更新されます。
- Windows、Linux、およびChromeOSプラットフォームの場合、ブラウザの言語をいずれかのCJK言語に変更します。

機能制限:

- マルチモニターセッションは、汎用クライアントIME機能をサポートしていません。代わりに、**サーバーIME**を使用してください。**サーバーIME**を有効にするには:
 - a. 必要に応じて、VDAまたはサーバーのキーボード言語を中国語、日本語、または韓国語(CJK)に変更します。
 - b. クライアントまたはChromebookのキーボード言語を英語に変更します。

Microsoft Windowsロゴキーおよびその他のキーボードショートカットのサポート

以下は、Microsoft Windowsで実行されるセッションで、Microsoft Windowsロゴキーとのキーの組み合わせのサポートを追加します。

- ウィンドウズ + R
- ウィンドウズ + D
- ウィンドウズ + E
- ウィンドウズ + M
- ウィンドウズ + S
- ウィンドウズ + コントロール + S
- ウィンドウズ + T
- ウィンドウズ + U
- Windows + 数字
- Windows プラス X
- Windows プラス K

さらに、Microsoft Windows で実行されるセッションで、以下のキーボード ショートカットをサポートするようになりました。

- オルト + タブ
- Esc キー
- Ctrl と N
- Ctrl と T
- Ctrl と W

macOS で実行されるセッションでは、以下の追加のキーボード ショートカットをサポートするようになりました。

- Esc キー
- コマンド + N
- コマンド + T
- コマンド + W
- Ctrl と N
- Ctrl と T
- コントロール + W

注記:

- macOSで実行されているセッションでは、**Alt + Tab**およびMicrosoft Windowsロゴキーのショートカットはサポートされていません。
- ショートカットキーは、ツールバーから選択された全画面表示モードでのみ機能します。

クリップボード

クリップボード操作を使用するには、コンテンツを選択し、キーボードショートカットの**Ctrl + C**と**Ctrl + V**を押して、以下の形式をコピー＆ペーストできます。

- プレーンテキスト
- HTMLデータ
- 画像クリップ

HTMLデータ形式のサポート

仮想デスクトップとエンドポイントデバイス間のクリップボード操作にHTML形式を使用できます。HTMLデータをコピー＆ペーストすると、元のコンテンツ形式がコピーされ、データをペーストすると、宛先のコンテンツも書式設定を保持します。さらに、HTML形式はより良い外観と操作性を提供します。

画像クリップのコピーのサポート

標準のキーボードショートカットを使用して、ローカルデバイスと仮想デスクトップおよびアプリセッション間で画像クリップをコピー＆ペーストできます。例えば、Microsoft Word、Microsoft Paint、Adobe Photoshopなどのアプリを使用できます。

注：

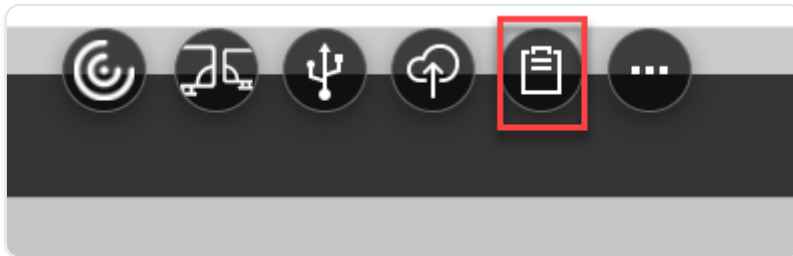
- ネットワーク帯域幅の制約により、2 MBを超える画像クリップをコピー＆ペーストしようとする、セッションが応答しなくなる可能性があります。
- 選択して**Ctrl + C**と**Ctrl + V**を押すことで、コピー＆ペーストできます。
- BMP、PNG、JPEG、GIFなどの形式を使用できます。

モバイルおよびタブレットデバイスでのサポート

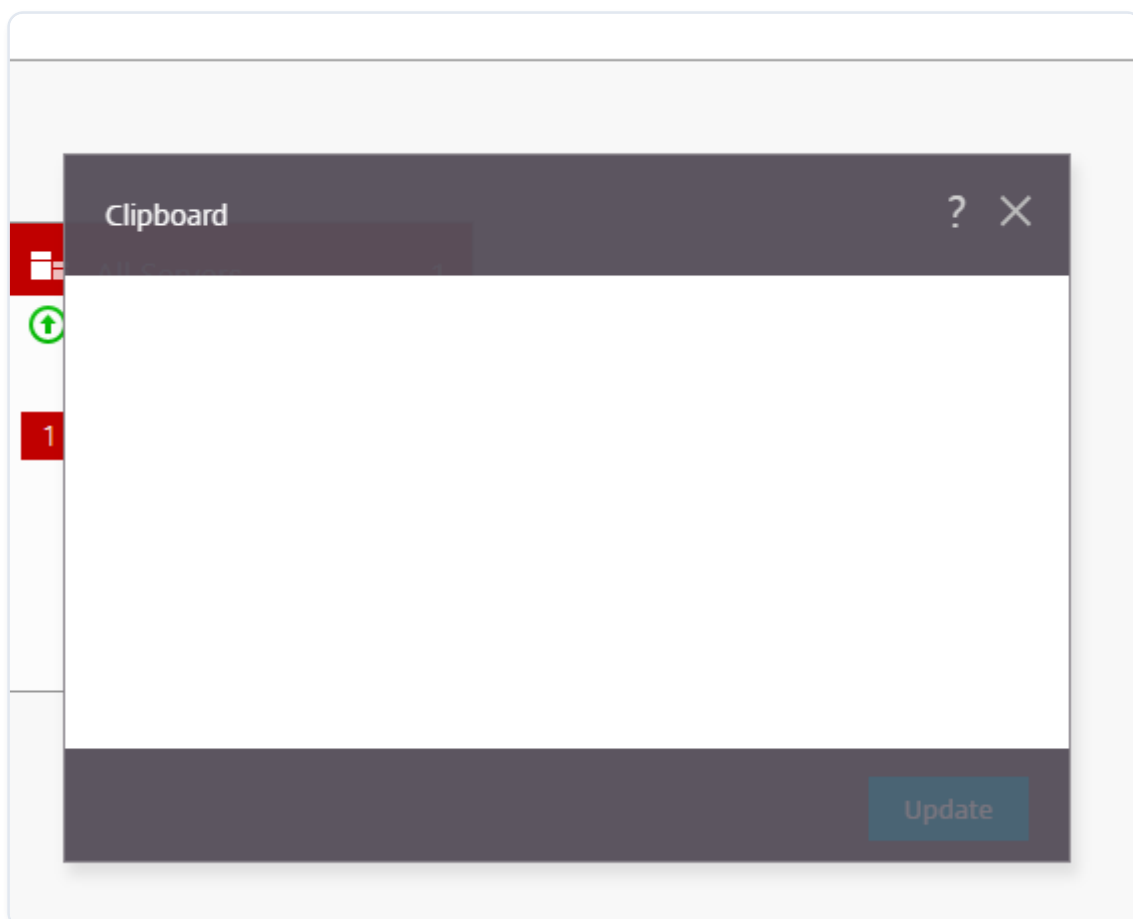
ローカルデバイスからコピーして仮想デスクトップセッションまたはアプリセッションにペーストしようとする、ペースト操作が失敗する場合があります。

プレーンテキストとHTMLデータを正常にコピー＆ペーストするには、次の手順を実行します。

1. ローカルデバイスからコンテンツをコピーします。
2. 仮想セッションに移動し、セッションツールバーにアクセスします。



3. クリップボードアイコンをタップします。クリップボードが表示されます。



4. コンテンツを貼り付けてから、**更新**をクリックします。

これで、コピーしたクリップボードのコンテンツをセッションに貼り付けることができます。

注：

クリップボードは画像形式をサポートしていません。

マルチモニター

マルチモニターのサポート

以前は、マルチモニター表示機能により、接続しているデスクトップまたはアプリセッションの追加のブラウザータブを開くことができました。追加のブラウザータブを外部モニターにドラッグできました。

現在、citrix-workspace-app は、手動操作なしでワンクリックで複数のモニターをサポートしています。デバイスに外部モニターが接続されていない場合、セッション内ツールバーのマルチモニターアイコンは非表示になります。必要な権限で外部モニターを接続すると、マルチモニターアイコンが表示されます。アイコンをクリックすると、接続されているすべてのモニターにウィンドウがまたがって表示されます。

この機能はデフォルトで有効になっています。

注：

- IT管理者がこの機能を無効にすると、以前の動作が引き続き表示されます。つまり、マルチモニターアイコンをクリックすると、デスクトップまたはアプリセッションの追加のブラウザータブが表示されます。

マルチモニター機能は以下をサポートしています。

- 最大2台の外部モニターを使用できます。
- マルチモニターのさまざまな表示レイアウトを使用できます。
- この機能は、Windows上のGoogle ChromeおよびMicrosoft Edge Chromiumブラウザーでのみサポートされています。
- macOSデバイスは以前の動作をサポートしています。つまり、ツールバーのマルチモニターアイコンをクリックすると、接続しているデスクトップまたはアプリケーションセッションのセカンダリウィンドウが表示されます。その後、セカンダリウィンドウをセカンダリモニターにドラッグできます。

- 利用可能なモニターの一部で仮想デスクトップを全画面モードで使用できます。仮想デスクトップをドラッグして2台のモニター（2台以上の中から）にまたがらせ、マルチモニターモードを選択できます。このシナリオの典型的な使用例は次のとおりです。
 - ネイティブデバイスのモニターでビデオ会議アプリを実行し、通話中に他の2台のモニターで仮想デスクトップのコンテンツを全画面表示したい場合。

機能を使用するには

1. 初めてのユーザーとして、セッションを開始すると、マルチモニター設定の使用許可を求める以下のポップアップが表示されます。

許可(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/mm-permission.png)

2. はいをクリックします。

許可(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/allow-mm.png)

ブラウザから、複数のモニターを使用する許可を求めるポップアップが表示されます。ブロックをクリックすると、複数のモニターを使用できません。

3. 許可をクリックします。

ブロック(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/mm-pop-blocked.png)

ポップアップブロッカーについて通知するポップアップが表示されます。

4. **OK**をクリックします。ブラウザの設定に移動し、常にポップアップを許可を選択します。

ブロック(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/pop-up-blocked.png)

5. 完了をクリックします。

注：

変更を有効にするには、セッションを再起動してください。

6. プライマリモニターで、マルチモニターアイコン  をクリックします。

接続されているすべてのモニターにウィンドウがまたがって表示されます。

重要:

マルチモニターのアクセス許可を拒否すると、マルチモニターアイコンは表示されません。代わりに、ツールバーに全画面表示アイコンが表示され、以前の動作に戻ります。マルチモニターのアクセス許可を手動で再度有効にするには、ブラウザの**設定 > プライバシーとセキュリティ > サイトの設定 > アクセス許可 > 追加のアクセス許可**に移動し、**ウィンドウの配置**を許可します。

注

- 外部モニターでは、リソースウィンドウは全画面表示モードになりません。代わりに、外部モニターのサイズと同じサイズのウィンドウモードになります。各外部モニターウィンドウでより良いユーザーエクスペリエンスを得るには、手動で全画面表示に切り替えることをお勧めします。全画面表示モードで表示するには、WindowsデバイスではF11キーを使用します。Macでは、ポインターをウィンドウの左上隅にある緑色のボタンに移動し、メニューから**フルスクリーンにする**を選択します。
- マルチモニターの状態は、異なるデバイスのセッション間で記憶されません。そのため、セッションごとにツールバーのマルチモニターアイコンを手動でクリックする必要があります。

機能の制限

- マルチモニター設定では、次の場合にセッションがシングルモニターモードに復元されます。
 - Microsoft Teamsを使用してプライマリモニターで画面を共有する場合。
 - ツールバーで**ログ記録**または**アップロード**オプションを選択した場合。複数のモニターの使用を継続するには、マルチモニターアイコンをクリックします。
- macOSデバイスでは、セカンダリウィンドウはGoogle Chromeブラウザの新しいタブとして開きます。

マルチメディア

オーディオ

デバイスオーディオまたはUSBヘッドセットを介して、話したり聞いたりできます。USBヘッドセットのボタン（ミュートやスキップなど）を使用することもできます。スムーズなオーディオ出力により、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

Safari macOSのセッション内でオーディオファイルを再生することはできません。

プラグアンドプレイオーディオデバイスのサポート

複数のオーディオデバイスをサポートし、それらを仮想デスクトップセッションにリダイレクトします。オーディオデバイスをリダイレクトすると、仮想デスクトップセッションの**サウンド設定 > 再生**および**サウンド設定 > 録音**の下でオーディオデバイス名を表示できるようになります。VDA上のデバイスリストは、オーディオデバイスが接続または削除されるたびに動的に更新されます。

既知の制限事項

- VDAでは、内蔵オーディオデバイスの名前は英語のみです。この問題は、ChromeOSベースのデバイスを使用している場合に発生します。
- この機能は、Microsoft Chromium EdgeおよびGoogle Chromeブラウザーでのみサポートされています。

Webカメラ

citrix-workspace-appは、仮想デスクトップおよびアプリセッション内の32ビットおよび64ビットアプリケーション、内蔵Webカメラ、および外部Webカメラの両方でWebカメラリダイレクトをサポートしています。Workspaceアプリは、新しく接続された外部Webカメラを検出し、動的に使用可能にします。

Webカメラリダイレクトのサポートは、Google ChromeおよびMicrosoft Edge（Chromium）ブラウザーだけでなく、Mozilla FirefoxおよびApple Safariブラウザーにも拡張されました。

Microsoft Teamsの最適化

Google Chromeブラウザでのみ、仮想デスクトップおよび仮想アプリセッションでMicrosoft Teamsの次の機能を使用できるようになりました。必要なGoogle Chromeの最小バージョンはm97以降です。

- 最適化されたオーディオ通話
- 最適化されたビデオ通話
- 最適化された画面共有
- e911のサポート
- 背景ぼかし効果
- デュアルトーン多周波 (DTMF)
- ライブキャプション

注：

- Microsoft Teamsの最適化は、Microsoft Teamsのデスクトップバージョンに適用され、VDA上のWebバージョンには適用されません。

機能の制限：

- Microsoft Teamsの最適化を使用して画面を共有する場合、画面共有が利用できないことを示す赤い枠線は表示されません。
- Microsoft Teamsの最適化を使用する場合、画面共有機能はデフォルトで無効になっています。有効にすると、ローカルデバイスのコンテンツを共有できます。

機能の既知の問題：

- Microsoft Teamsの最適化は、Google Chromeブラウザのみでサポートされています。

画面共有

バージョン2209以降、画面共有はデフォルトで有効になっています。エンドユーザーは、citrix-workspace-appを介して開かれたアプリやタブを共有できるようになりました。画面共有中、共有ウィンドウの周囲に青い枠線が表示されます。

動的e911のサポート

citrix-workspace-appは動的な緊急通報をサポートしています。Microsoft Calling Plans、Operator Connect、およびDirect Routingで使用する場合、次の機能を提供します。

- 緊急通報の設定とルーティング
- セキュリティ担当者への通知

通知は、VDAで実行されているMicrosoft Teamsクライアントではなく、エンドポイントで実行されているcitrix-workspace-appの現在の場所に基づいて提供されます。

Ray Baum法では、911通報者の発信可能な位置情報を適切な公共安全応答拠点（PSAP）に送信することが義務付けられています。HTML5向けcitrix-workspace-app 2202以降、HDXによるMicrosoft Teams最適化はRay Baum法に準拠しています。

Microsoft Teams最適化e911通話の場合、次のように**位置情報**アクセスを有効にします。



Microsoft Teams最適化における背景のぼかしとエフェクト

2303リリース以降、HTML5向けCitrix Workspaceアプリは、ビデオ通話のMicrosoft Teams最適化における背景のぼかしとエフェクトをサポートしています。Microsoft Teamsが提供する背景エフェクトをぼかすか置き換えることで、シルエット（体と顔）に会話を集中させ、予期せぬ邪魔を避けることができます。この機能はP2P通話および会議通話で使用できます。この機能はMicrosoft Teams UIと統合されています。

注：

- デフォルトでは、この機能は無効になっています。この機能を有効にするには、組織の管理者にお問い合わせください。
- マルチウィンドウサポートは、VDAを2112以降にアップデートする必要がある前提条件です。詳細については、「[マルチウィンドウ会議とチャット](#)」を参照してください。

制限事項

- 管理者およびユーザー定義の背景の置き換えはサポートされていません。
- この機能を有効にすると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

- ICAセッションが再接続されると、効果はオフになります。ただし、Microsoft TeamsのUIでは、以前の効果がチェックマークでまだオンになっていると表示されます。CitrixとMicrosoftはこの問題の解決に向けて協力しています。

Microsoft Teamsのマルチウィンドウチャットと会議

バージョン2301以降、Microsoft Teamsでチャットや会議に複数のウィンドウを使用できます。会話や会議をさまざまな方法でポップアウトできます。

ポップアウトウィンドウ機能の詳細については、「[Microsoft Teamsでチャットをポップアウトする](#)」を参照してください。トラブルシューティングについては、「[CTX253754](#)」を参照してください。

Microsoftは将来的にシングルウィンドウのサポートを廃止します。古いバージョンのcitrix-workspace-appまたはVirtual Delivery Agent (VDA) を実行している場合は、以下にアップグレードできます。

- citrix-workspace-app 2301以降 および
- VDA - 2203以降

Microsoft Teamsのライブキャプション

Microsoft Teamsの最適化は、Microsoft Teamsでライブキャプションが有効になっている場合に、話者が話している内容のリアルタイム文字起こしをサポートします。

ファイル処理

ファイル転送

デフォルトでは、ユーザーは次のことができます。

- ローカルのダウンロードフォルダーまたは接続された周辺機器からファイルをアップロードし、Citrix Virtual Apps and DesktopsまたはCitrix DaaSセッションからデータにシームレスにアクセスできます。
- Citrix Virtual Apps and DesktopsまたはCitrix DaaSセッションから、ユーザーデバイス上のフォルダーまたは周辺機器にファイルをダウンロードできます。

Citrix Workspaceアプリ for HTML5は、Safariブラウザを使用してMacBookでファイルをダウンロードすることをサポートしています。

制限事項

- ユーザーは一度に最大10個のファイルをアップロードまたはダウンロードできます。
- 最大ファイルサイズ:
 - アップロードの場合: 2147483647バイト (2 GB)
 - ダウンロードの場合: 262144000バイト (250 MB)

クライアントドライブマッピング

バージョン2303以降、クライアントドライブマッピング (CDM) 機能は、セッション内からアクセスできるようにローカルマシン上のフォルダーマッピングをサポートしています。システムファイルを含まないフォルダーであれば、ローカルマシン上の任意のフォルダーをマップできます。

エンドユーザーは次の操作を実行できます。

- ローカルマシンからセッション内のマップされたドライブにファイルとフォルダーをコピーします。
- マップされたドライブ内のファイルとフォルダーのリストを表示します。
- マップされたドライブ内のファイルの内容を開いて読み取ります。

- マップされたドライブ内のファイルのプロパティ（変更時刻とファイルサイズのみ）を表示します。

この機能により、HDXセッション内のファイルエクスプローラーで、仮想デスクトップドライブとローカルマシンドライブの両方に同時にアクセスできるという利点があります。この機能は、デスクトッププラットフォーム、Google Chrome、およびMicrosoft Edge Chromiumブラウザーでのみサポートされています。

注：

- デフォルトでは、この機能は有効になっています。
- OneDriveやGDriveなどのクラウドベースのドライブは、クラウドプロバイダーによってサポートされている場合に限り、マップできます。

既知の制限事項

- マップされたドライブ内のファイルやフォルダーの名前を変更することはできません。
- マッピングにはフォルダー名のみが含まれ、フルパスは含まれません。
- ローカルフォルダーに隠しファイルがあり、同じフォルダーをマップした場合、隠しファイルはセッション内のマップされたドライブで表示されます。
- マップされたドライブ内のファイルのプロパティを読み取り専用アクセスに変更することはできません。
- リムーバブルデバイスからフォルダーをマップし、アクティブなセッション中にデバイスを取り外した場合、セッション内でマップされたドライブを使用することはできません。マッピングは手動で削除する必要があります。

この機能の既知の問題

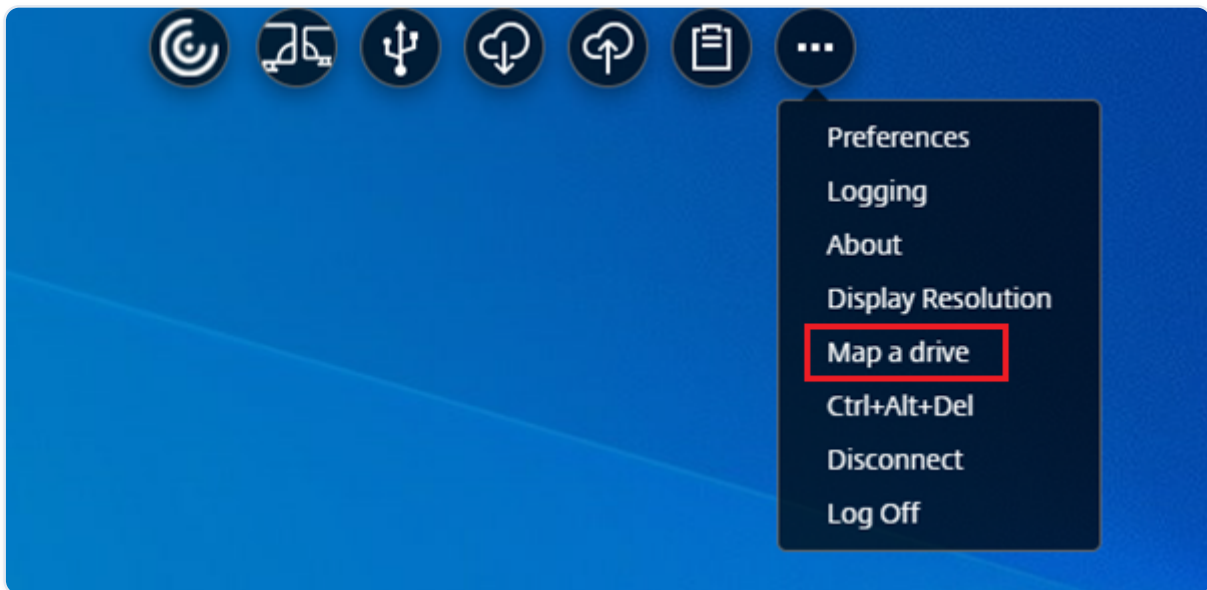
- モバイルプラットフォームでCDM機能を使用すると、ダイアログボックスの上部が切り詰められます。

アクセスレベル

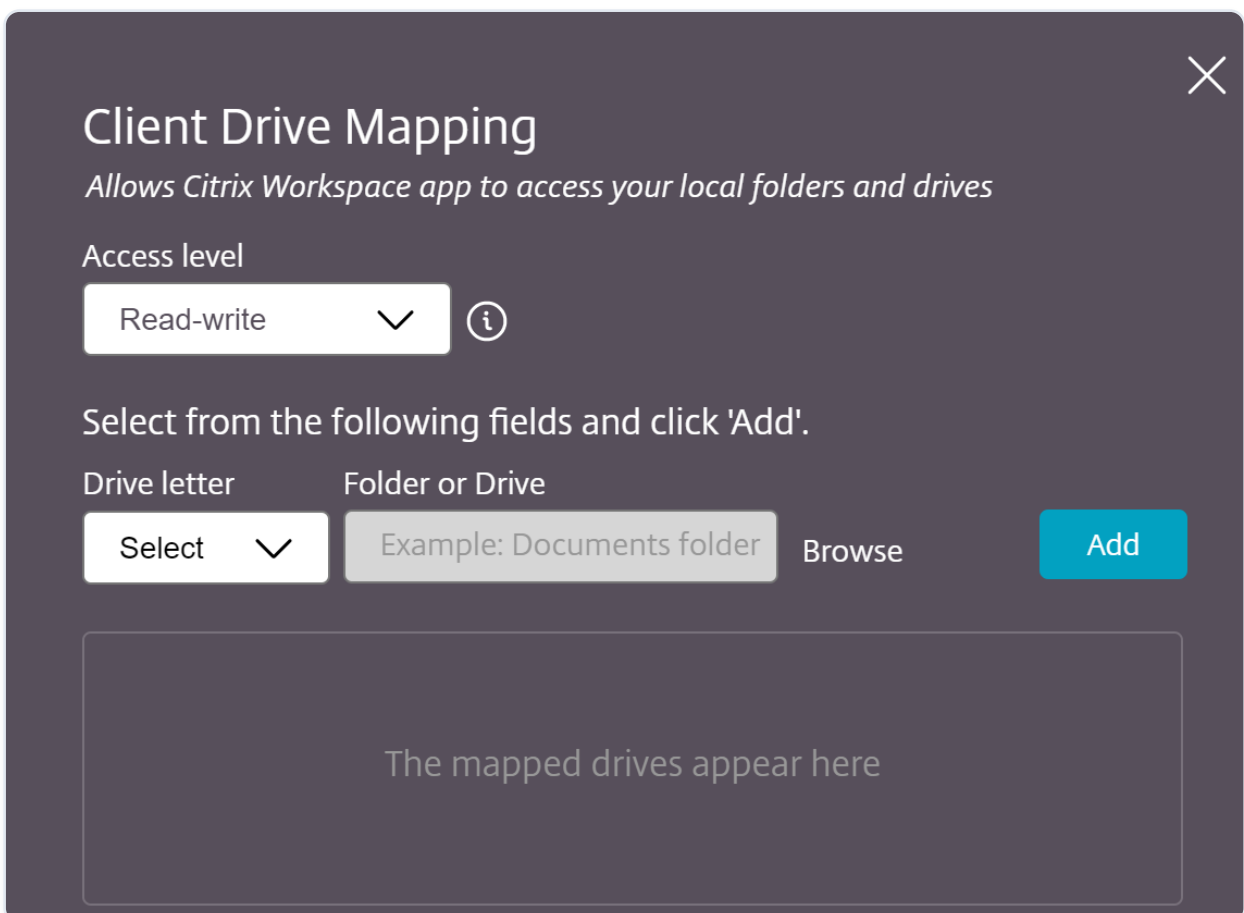
この機能を有効にすると、フォルダーまたはドライブのアクセスレベルを設定できます。たとえば、管理者が **availableAccessLevels** を に設定した場合、エンドユーザーはドロップダウンリストで **読み取り専用アクセス** と **アクセスなし** のオプションを表示できます。

機能の使用方法

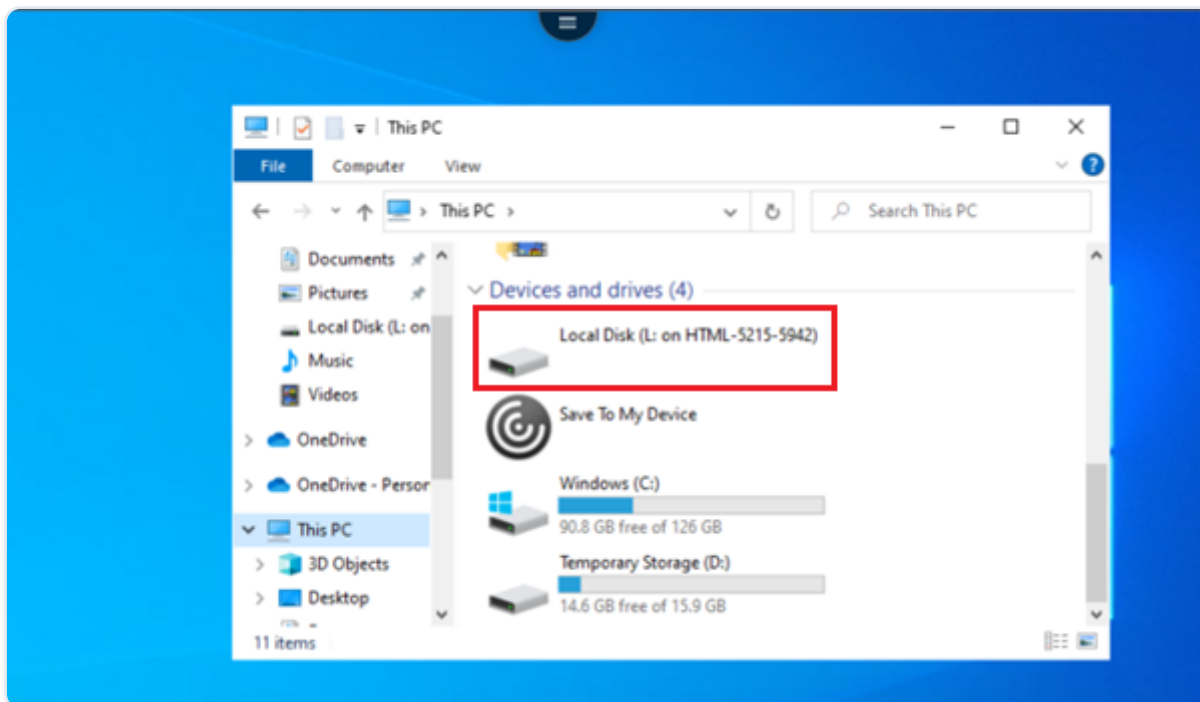
1. ツールバー に移動し > その他 (...) > ドライブのマップ を選択します。



2. フォルダーまたはドライブの **アクセスレベル** を選択します。表示されるドロップダウンリストのオプションは、組織のIT管理者がプロファイルに設定したアクセスレベルによって異なります。



3. **ドライブ文字** を選択し、**参照** をクリックしてローカルマシンのフォルダーまたはドライブに移動します。



4. **追加** をクリックします。
5. セッションを切断して再接続します。

セッション内にマップされたドライブ文字が表示されます。

周辺機器

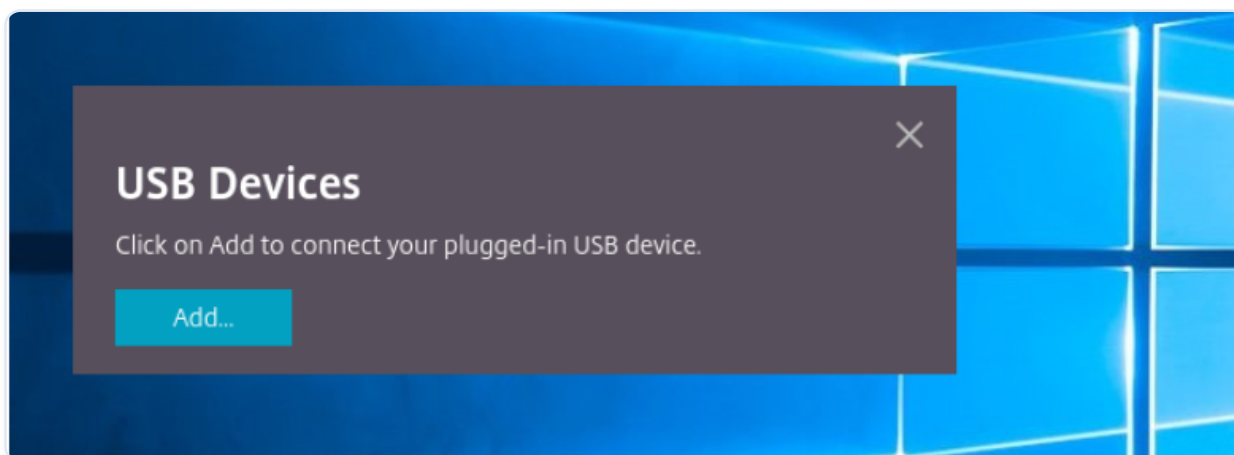
USBデバイスのリダイレクト

汎用USBデバイスのリダイレクトは、Chrome、Mac、Linuxオペレーティングシステムで動作するChromeブラウザ（バージョン61以降）でサポートされています。この機能は、セキュアなHTTPS接続を介して起動されたセッションでサポートされます。この機能は、2つのUSBデバイスの同時リダイレクトをサポートします。

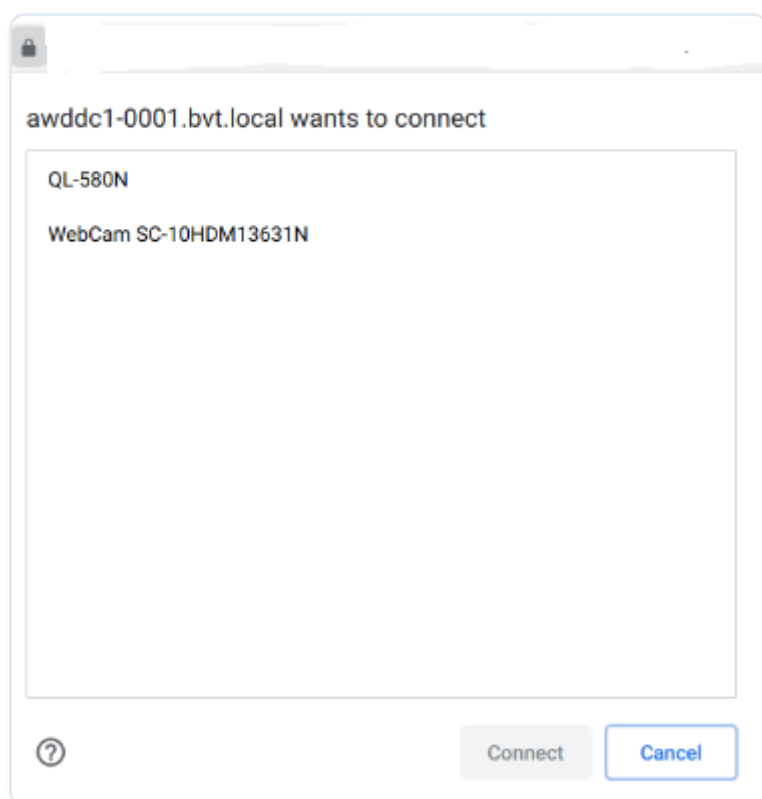
1. USBデバイスをマシンに接続します。
2. セッション内ツールバーにある**USBデバイスアイコン**をクリックします。



3. **USBデバイス**ダイアログボックスで、**追加**をクリックします。



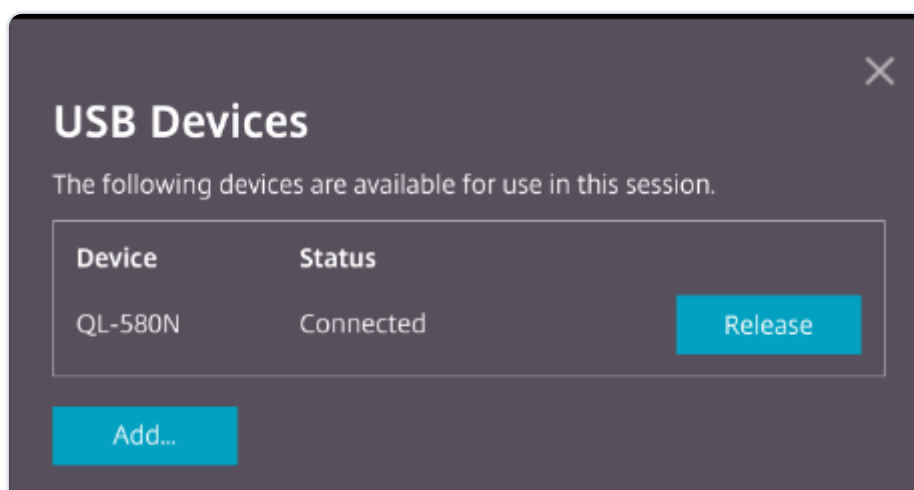
この操作により、デバイスのリストが表示されるChromeダイアログボックスが開きます。



注：

Chromeダイアログボックスには、Citrix Workspaceアプリ for HTML5を介して常にリダイレクトされるとは限らないUSBデバイスが表示されます。Citrix Workspaceアプリ for HTML5を介してリダイレクトできるUSBデバイスは、アプリ内のUSBデバイスダイアログボックスに表示されます。

4. リダイレクトするデバイスを選択し、**接続**をクリックします。リダイレクトが成功すると、**USBデバイスダイアログボックス**に戻り、デバイスは**接続済み**として表示されます。



5. citrix-workspace-appでサポートされていないUSBデバイスをリダイレクトしようとする、次のエラーメッセージが表示されます。

「エラーメッセージ1」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/error-message-one.png)

6. 「リリース」をクリックして、リモートセッションからデバイスを解放します。

「リリース」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/release-button.png)

7. 複数のセッションを起動した場合、別のセッション内で接続されているUSBデバイスは「使用中」と表示されます。「ここに転送」をクリックして、デバイスを現在のセッションに転送します。

「ここに転送」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/usb-transfer-here.png)

8. 複数のUSBデバイスをセッションにリダイレクトする場合、「すべてのデバイスを解放」をクリックして、セッションからデバイスを削除します。

「すべてのデバイスを解放」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/release-all-devices.png)

9. 「リリース」をクリックせずにリダイレクトされたUSBデバイスをマシンから切断すると、次のエラーメッセージが表示されます。

「エラーメッセージ2」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/error-message-two.png)

USBデバイスリダイレクト機能は、macOSやChromeなどのクライアントオペレーティングシステムがデフォルトでデバイスドライバーをロードしないUSBデバイスにのみ適用されます。たとえば、この機能はBrother QL-580Nラベルプリンターに関連しています。

LinuxオペレーティングシステムでUSBデバイスをリダイレクトできない場合は、ユーザーアカウントを設定し、USBデバイスを開くためのアクセス許可を付与してみてください。詳細については、[Google開発者向けドキュメント](#)を参照してください。

Chromeブラウザの動作

- 南京錠アイコンをクリックすると、ブラウザタブに「安全な接続」ダイアログボックスが表示されます。ブラウザタブがユーザーの許可を得ているUSBデバイスを確認できます。複数のUSBデバイスがある場合でも、Citrix HTML5クライアントがリダイレクトできるデバイスのみがCitrixの**USBデバイス**ダイアログボックスに表示されます。これらのデバイスはリモートセッション内で使用できます。

「安全な接続」 (/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/connection-secure.png)

- ブラウザタブに付与されたアクセス許可を取り消したい場合は、USBデバイスの横にある  アイコンをクリックします。その結果、「再読み込み」ボタンが表示されます。「再読み込み

」をクリックすると、セッションが閉じます。変更を有効にするには、セッションを再起動してください。

再読み込み(/en-us/citrix-workspace-app/html5/media/reload.png)

制限事項:

- USBデバイスリダイレクト機能は、Windowsなどのクライアントオペレーティングシステムがデフォルトでデバイスドライバーをロードする一部のUSBデバイスには適用されません。
- USB Type Aデバイスのみをセッションにリダイレクトできます。ただし、Type Cコネクタを介してType Aデバイスを接続できます。
- **USBハブ**デバイスを解放しても、接続されている**USB Type A**デバイスが解放されない場合があります。
- HIDデバイス、マスストレージデバイス、およびWebカメラのリダイレクトは動作しない場合があります。
- この機能は、Windows 10で実行されているVDAでテスト済みであり、サポートされています。
- この機能は、最大2台のUSBデバイスで同時にテストされています。

印刷

PDF印刷

PDF印刷を構成するには

Citrix PDF Universal Printerドライバを使用すると、XenAppおよびXenDesktopバージョン7.6によって提供されるホスト型アプリケーションまたは仮想デスクトップで実行されるアプリケーションで開かれたドキュメントをユーザーが印刷できます。ユーザーがCitrix PDFプリンターオプションを選択すると、ドライバはファイルをPDFに変換し、PDFをローカルデバイスに転送します。その後、PDFは新しいブラウザタブで開かれ、ローカルに接続されたプリンターから表示および印刷できます。

強化されたPDF印刷エクスペリエンス

以前のリリースでは、PDFを印刷しようとする、「**続行**」印刷ダイアログが表示され、印刷の確認を求められました。

現在、Citrix Workspaceセッション内に「**印刷**」ウィンドウが表示されます。「**印刷**」ウィンドウからドキュメントを直接印刷できます。

この機能強化は、Google ChromeおよびMozilla Firefoxで完全にサポートされており、デフォルトで有効になっています。

この機能強化は、既知のいくつかの制限付きでInternet Explorer 11で部分的にサポートされており、デフォルトでは無効になっています。

タッチとモビリティのサポート

モバイルプラットフォームでのコンボボックスのサポート

2303バージョン以降、小型画面でのコンボボックス内のUI要素の選択がよりスムーズになりました。

タッチデバイスでのジェスチャーの機能強化

2304バージョン以降、citrix-workspace-appは以下のエンドユーザーエクスペリエンスを強化します。

- モバイルデバイスでのジェスチャー、マルチタッチ、およびソフトキーボード機能。
- タブレットモードでのソフトキーボード機能。

citrix-workspace-appセッションでは、タップ、スワイプ、ドラッグ、ピンチ、ズームなど、おなじみのマルチタッチジェスチャーをすべて使用できます。

ジェスチャーガイドは以下のとおりです。

操作:	CITRIX-WORKSPACE-APPでの操作:
シングルクリック	1本指タップ
右クリック	タッチして長押し、離す
画面キーボードを開く	3本指でタップ (またはツールバーから、キーボードアイコンをタップ)
ズーム	ピンチイン/ピンチアウト
ドラッグ	タッチ、ホールド、スライド
カーソルを有効にする	2本指でタップ

仮想キーボードの自動表示

2211バージョン以降、編集可能なフィールドにカーソルを置くと、仮想キーボードが自動的に表示されます。この機能により、タッチスクリーンデバイスでのユーザーエクスペリエンスが向上します。以前は仮想キーボードを表示するためにキーボードアイコンをクリックする必要がありましたが、それとは異なります。

fix

This is the content for the sample heading topic. It is hidden from the main table of contents but remains accessible via links.